

ディボーション質問表

23日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

24日(月) ヨハネの黙示録 12:10~18

今はまだ第二の天の領域(神の支配する天国と人間の住む自然界の領域の間)のいる悪霊たちですが、この時には完全に活動範囲を地上に合わせて、特にイスラエルを狙います。そして、神の民を追い詰めて行きます。

1. 悪魔の激しくみえる活動は、その敗北の直前、最後の悪あがきです。 私たちもたとえ迫害にあったとしてもそれは長続きしないことをおぼえましょう。 あなたは神にゆだね、はっきりと回りに表明すべき事が何かありますか。
2. イスラエルにも失敗はありますが、神の守りは常に彼らの上にある事を覚えましょう。 メディアに踊らされている様なところが自分にないか吟味しましょう。

25日(火) ヨハネの黙示録 13:1~10

この一匹の獣は復興ローマ帝国です。 ヨーロッパから中央アジアにわたる反イスラエル諸国連合と思われます。 反キリストはその奇跡的な復活と共に世界中の人々の尊敬を集め、支配権を広げます。 それを見破る信仰者たちはさまざまな迫害を受けます。

1. ここで再び「耳のあるものは聞きなさい」という言葉が出てきます。 あなたはもしこのような反キリストがこの時代に出てきたら、立ち向かえるでしょうか。 神に信仰を求めましょう。
2. われわれの基本的な武器は信仰の武具です。 エペソ6章を読んでもう一度その武具を身に付けましょう。

26日(水) ヨハネの黙示録 13:11~18

第一の獣が海(ここでは地中海とその沿岸部にできてきたさまざまな人間権力をあらわす)から出てきて世界の政治経済を支配するのに対して、この二番目の獣は地から出てきます。 地とは「地獄にいくべきもの」を象徴し、この獣は悪魔からの霊力を持ちます。 そして、この第二の獣は第一の獣を神としてまつりあげ、人間崇拜の象徴とします。 666 という数字によって人々は管理されますが、それが何かはまだ断定できません。 ただ現代的な多くの詐欺事件をふせぐために、このようにからだに個人情報埋め込む、または刻印することが最終的な身分証明法になってくることは間違いないでしょう。

1. 最初の獣は致命的な傷から回復します。 多くの人々はこれに驚いて信じてしまいます。 では私たちが本当に驚くべき神のわざとは何だと思いませんか。
2. イザヤ14:13~14を参考にして、悪魔に支えられた独裁者がどのような言動をするか想像してください。 私たちも高慢になって個人レベルで同じようなわなには陥ることがないでしょうか。

27日(木) ヨハネの黙示録 14:1~5

反キリストの地上支配が始まるのと前後して、その信仰によって神に賞賛される人々が起こされてきます。 彼らの数は14万4千人(7章のイスラエルの12部族のことかどうかは不明)、多くの人が666の刻印を受けるのとは対称的に神の子羊キリストと父なる神のものであるしるしが彼らにはついていて、この人たちは純粋で、正直、そして傷のない者たちであり、ひたすら主についていきます。

1. この14万4千人は「地上から贖われて」います。 彼らは迫害によって殺されるかもしれませんが。 しかし主に従っています。 彼らの気持ちを想像してみましょう。
2. この贖われた14万4千人には、彼らだけが学べる歌がありました。 私たちにも自分にしかできない賛美歌があるのではないのでしょうか。 今日一つ作ってみましょう。

28日(金) ヨハネの黙示録 14:6~13

ここから20節にかけて6人の天使たちが續けて出てきます。 最初の3人の天使は独裁者(とその背後にいる悪魔)に従ってしまう地上の人々への裁きを宣告します。 終わりの時代に人が作る最高の国「大バビロン」も、史上最強の独裁者も神の前にはひとたまりもありません。 しかし、滅ぼされる前、彼は一時的に地上をほしいままにします。 この時代の人々にとって最高の幸せとは独裁者を拜まず、「主にあって死ぬ」ことにあります。

1. 最初の天使は裁きを宣告しながらも「永遠の福音を携えて」います。 あなたは毎日、どのように福音を携えて行きますか。
2. 13節に「彼らの行ないはついて行く」とありますが、どんな行ないだと思いますか。

29日(土) ヨハネの黙示録 14:14~20

申命記32:31~35やヨエル3:12~14あたりからの比較により、これが終末預言の実現であることが分かります。 申命記のソドムやゴモラは人間の欲望が渦巻く最低の都市でした。 ぶどうは人間の罪の実とされます。 人間が歴史を通して行ってきた数々の罪がここであらわにされ、その報い(ぶどう酒=血)として流れ出ていきます。 すさまじいことに深さ約1メートル40センチ、長さ約320キロの血の川が目の前に広がります。

1. この箇所では罪の実をキリストが刈り取ります。 しかし、今はまだ救いの実を刈り取ることのできる時代です。 あなたはどこで刈り取りますか。
2. 現代文化の中に潜むさまざまな罪の中でも、特にあなたの回りで見られるものがありますか。 そのためにとりなしましょう。